

簡易加圧溶解タンク 取扱説明書



簡易加圧溶解タンク 取扱説明書

20180528 改訂

(有)OK エンジニアリング

簡易加圧溶解タンクを使用する場合はマイクロバブルの密度が高いものを必要とする時です。例えば、洗浄関係、浮上分離（ゴミ、油等）などに使用されます。

風呂にも使用されていますが、そこまで密度を上げる必要は無いと思います。

私は、簡易加圧溶解タンクの開発中に「密度の高いマイクロバブル風呂」に1週間入りましたが違和感を覚えました。マイクロバブルには強い脱脂力があります。

加圧タンクの部位名称



加圧タンクの使い方

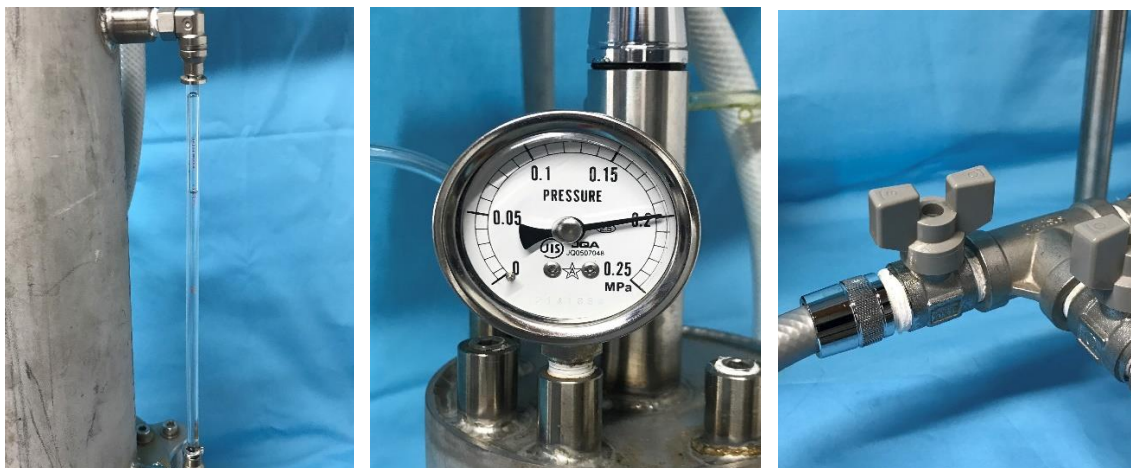
- ① 全てのバルブ(タンクに付いているエア供給ホースのスロットルバルブ・水の出る2つの配管のバルブ)を開け、タンク内に水が入っていない状態にします。(少量ならOK)



- ② 全てのバルブ(タンクに付いているエア供給ホースのスロットルバルブ・水の出る2つの配管のバルブ)を閉めます。



- ③ ポンプを作動させて水(液体)を送ります。
タンク内の水位(タンク横に付いているホースで確認)、又は水圧(加圧タンクについている圧力計で確認)が一定になれば、ノズルが付いている側のバルブを開けてください。
ノズルからファインバブル水が吐出します。



- ④ ノズルの吐出量・水圧を調節する場合は、ノズルの付いていない側のパイパスホースのバルブを開けて調整して下さい。



⑤ 動作・ポンプを止める場合の注意点

動作・ポンプを止める場合、タンク内に空気が残っているとポンプに空気が入ってしまいます。

【ポンプに空気が入った場合】

呼び水(ポンプに直接、水を入れて中の空気を抜く事)をしてください。

そのままポンプを使用すると、ポンプ故障の原因になります。

エア供給ホースのスロットルバルブを開けて、タンク内の空気を抜いてから、ポンプを止めてください。

【注意】

エア供給ホースの先から水が出るので、エア供給ホースから出た水が水槽等に戻るように設置してください。



⑥ 動作を再開する場合

タンクの使い方①に戻って作業してください。

取扱説明を読んでも分からない事・気になる点があれば、お問い合わせください。

(有)OK エンジニアリング

Email: oke@s3.dion.ne.jp

TEL: 06-6796-7670